

## 79. 鹿児島大学医学部（国立）

### Kagoshima University・Faculty of Medicine

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/>

〒890-8544 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

電話099-275-5111 (大代表)

FAX099-275-6019

教養課程

〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21-24

電話099-285-7111 (大代表)

FAX099-285-8808

専門・教養課程所在地間の最寄交通機関による所要時間 約30分

#### 1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）と専門教育とを区別せず、6年一貫教育である。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）にはない。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）で部分的ではあるが示しており、その印刷物を「医学科学習の手引き」という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて2年生に編入する。  
編入生の編入時期はすべて10月である。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは6日間行うが合宿ではない。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生である。

その期間と内容：1年生：1日間：検診車同乗実習、救急車同乗実習

2日間：学外医療、福祉施設実習、看護体験実習、保育園実習

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。

コアタイムの時間は

2年生は、平均して週0.15時間×年間6回である。

3年生は、平均して週0.8時間×年間16回である。

4年生は、平均して週0.275時間×年間11回である。

チューターは主として基礎医学系と臨床医学系の教員が行う。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムをすべてにわたり採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

- ・モデル・コア・カリキュラムを組み入れている。
- ・1年生に小児医療、看護体験、診断学、救急医学などをEME (Early Medical Exposure)として、導入している。
- ・2年生の「診断学入門」で、実際に標準模擬患者を相手に医療面接を行っている。
- ・4年生対象に「鹿児島一次医療系」カリキュラムで地域に即した教育を行っている。
- ・離島医療実習を必修とし、離島施設で参加型実習を行っている。

K. 今後のカリキュラム改訂は平成21年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

- ・臨床実習を、より実効性のある臨床参加型実習とする。
- ・基礎と臨床の組み合わせを実際の臨床に即した内容とする。
- ・より精選した重複の少ない臓器別カリキュラムとする。

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

- ・医学教育センターを設置し、一元的な教育指導体制を作る。
- ・早期からの指導のために、学生の学力判断をより多くの段階で把握するシステムを構築する。

## 2. 選択制について

専門教科について選択制を採用している

専門教科で選択制としている教科は下記のとおりである。

Medical English I、Medical English II、人間関係論、病態生化学、分子生物学、生理学特講Ⅰ、生理学特講Ⅱ、臨床医学学外実習、臨床医学選択実習、基礎・社会医学特別実習

## 3. 一般教育（教養）について

A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。

一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一部が一緒である。

B. 他大学との単位互換について認めている。

D. 一般教育（教養）部門ではほとんどが選択科目である。

E. 平成19年新生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生数は36%であった。

「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。

F. 平成19年新生にはセンター試験が導入されていた。

入学者のうち「生物」を選択していた学生は約45%であった。

## 4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、希望者のみが3年生の時に平均して1週30時間×3週間配属される。

## 5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。（23日間）

身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入している。

B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）

5年の時、1週40時間で、42週間である。

6年の時、1週40時間で、12週間である。

C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。

D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で1年を通して臨床実習を行っている。

そこで行う実習科目は（全科目）である。

この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。

E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。

F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。

- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。  
臨床実習の評価結果は可否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。  
そして不合格の場合は、不合格科目のみ再度臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については

- ・事前に学習枠を設けて学習している。
- ・保険制度に加入している。
- ・ワクチン接種を行っている。

## 6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は臨床実習のみを行う機会がある。  
実習の最長期間は12週である。

## 7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは2年終了時、3年終了時、4年終了時である。
- B. 成績の記録法は点数制を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとと総合試験の両方である。  
時期は10月の1週間（長期休暇期間を除く）である。
- D. 6年生の10月以降には、最終合同試験が組まれている。  
また、大学による国家試験対策のための特別な講義が組まれている。
- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学生である。  
自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。  
その評価結果は昇進などに関係しない。
- F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

## 8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

- A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨 床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授		18	17	4		39
	准教授		15	21	3		39
	講 師		6	39	2		47
	助 教		20	92	1		113
	その他						0
	合 計	0	59	169	10	0	238

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授			47		5	52
	准教授			13		1	14
	講 師			1		178	179
	助 教						0
	その他						0
	合 計	0	0	61	0	184	245

- \* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。
- \*\* 基礎は社会医学を含む。
- \*\*\* 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

- ・ 任期を定めて雇用する教員の職は、大学院医歯学総合研究科、医学部・歯学部附属病院の准教授、講師及び助教とする。
- ・ 任期は5年とする。
- ・ 再任の可否を決するに際しては、当該教員の任期中の業績審査を行うものとする。

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていない。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
	うち女子人数	うち女子人数					
1	87	27	0	0	0	2	0
2	102	37	10	5	3	3	2
3	93	30	10	0	0	1	0
4	106	32	11	9	2	1	1
5	101	36	10	0	5	3	2
6	98	35	10	4	1	0	0
合計	587	197	51	18	11	10	5

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数477名、合格者数85名、倍率5.61倍

入学者数87名、（定員85名、うち推薦入学者数2名）

入学者の状況： 現役22名、1浪25名、2浪20名、その他20名、  
定員外に別試験で入学した外国人学生2名、

センター試験を導入している

センター試験で理科を2単科目課している。

11. 平成19年（今年）の1年生以外の編入学状況

編入学者数／応募者数

2学年10／242

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数524名、合格者数85名、倍率6.16倍

入学者数88名、（定員85名、うち推薦入学者数2名）

入学者の状況：現役21名、1浪25名、2浪21名、その他21名、  
定員外に別試験で入学した外国人学生3名、

センター試験を導入している

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

A. 編入学者数／応募者数

2学年10／154

B. 現在編入学者地域わくは無いが、検討中である。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL / チュートリアル
1		○		144	30	0
2		○		325.5	285	9
3		○		661	275	24
4		○		696	153.5	16.5
5		○		0	1890	0
6		○		0	360	0

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は  
1年、5年はある

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）  
新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
A B		C			D

- (註) A：教養（一般教育、基礎教育）  
 B：医学入門分野  
 C：基礎臨床統合カリキュラム  
 D：臨床医学（卒業試験を含む）

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
(医学入門)			
医学生物学	22.5		22.5
生化学Ⅰ	45		45
生化学Ⅱ	45		45
生理学総論	22.5		22.5
神経・筋生理学	22.5		22.5
診断学入門		30	30
看護学概論	9		9
Medical EnglishⅠ	22.5		22.5
Medical EnglishⅡ			
人間関係論			
解剖学の基礎	24	18	42
疫学と病気の予防	13.5		13.5
E M E		30	30
(基礎臨床統合カリキュラム)			
○人体構造機能系	99	201	300
○症候病態系	153	36	189
○生理生化実習系		68	68
○薬理総論系	45	21	66
○感染免疫アレルギー系	160	42	202
○循環系	58.5	3	61.5
○呼吸系	40.5	3	43.5
○消化器系	115.5	6	121.5
○神経系	79.5	3	82.5
○運動器系	28.5		28.5
○感覚系	30		30
○血液系	45		45
○皮膚系	15		15
○膠原病系	31.5		31.5
○腎尿路系	25.5	3	28.5
○生殖系	27	3	30
○乳房系	15	3	18
○放射線系	19.5		19.5
○精神系	51		51
○内分泌・代謝・栄養系	57	1.5	58.5
○小児受胎系	70.5		70.5
○鹿児島一次医療系	55.5		55.5
○麻酔集中治療系	52.5		52.5
○機能修復系	48		48
○医療科学医科学系	136.5		136.5
○社会医学系	171	12	183
○医の倫理系	19.5		19.5
医療面接診断学実習系		140	140
基礎医学特別コース		90	90
基礎医学特講		30	30
(臨床医学)			
内科学実習ⅠA		90	90
内科学実習ⅠB		90	90
内科学実習ⅠC		90	90
リハビリテーション医学実習		45	45
精神神経医学実習		90	90
小児科学実習		90	90
外科学実習ⅠA		90	90
外科学実習ⅠB		90	90

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
脳神経外科学実習		90	90
整形外科学実習		90	90
皮膚科学実習		90	90
泌尿器科学実習		90	90
眼科学実習		90	90
耳鼻咽喉科学実習		90	90
放射線医学実習		90	90
産科学婦人科学実習		90	90
麻酔学蘇生学実習		90	90
小児外科学実習		90	90
医療科学実習Ⅰ		45	45
内科学実習Ⅱ		135	135
外科学実習Ⅱ		90	90
医療科学実習Ⅱ		45	45
臨床医学学外実習			0
臨床医学選択実習		360	360
基礎・社会医学特別実習			0
合 計	1876	2993.5	4869.5

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	144	30	174
2 学年	334.5	285	619.5
3 学年	685	275	960
4 学年	712.5	153.5	866
5 学年		1890	1890
6 学年		360	360
合 計	1876	2993.5	4869.5

#### 16. その他の教育内容

下記の教育内容は独立した授業科目\*として授業が行われていますか。

独立した科目として授業が行われている科目：

医学外国語（選択必修）、医の倫理（必修）、人間関係学（選択必修）、医療安全（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、人類遺伝学（臨床遺伝学）、医用（電子）工学、行動科学、医療福祉学（医療社会福祉学）、緩和ケア、医療経済、医療情報学、高齢医学、在宅ケア・介護、プライマリ・ケア、家庭医学、臨床医学、医療保険

#### 18. MD-PhDコースを設置している。

（在籍者は、1名。）